

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立矢田北小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・学力向上の取り組みの中で、先生全員が英語（外国語活動）の授業研究をし、フォニックスに取り組んでいることは高く評価できる。
- ・見守り隊の一員として、のぞむことは、子ども達の安全・安心を地域の大人みんなで守れるような地域社会を作りたいということ。学校の先生に一番望むことは、子どもと同じ目線でみてやってほしいということ。
- ・卒業式をみて、あらためて先生たちの苦労がよくわかったし、ルールの守れる子ども達に育てていただきたいと強く感じた。
- ・家庭学習を定着させるために、小学校で学期ごとに配布されている『家庭学習のてびき』の取組みはすばらしい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上（各教科・校内研修の充実・自主学習習慣の確立）
読解力を高めるためには、読書量を増やすことが一番効果がある。もうひと頑張りしてほしい。9割の教員が自信をもって外国語の授業ができたというアンケート結果は、とても頼もしい。外国語活動（Happy Time）に大いに期待する
年度目標：道徳心・社会性の育成（道徳教育の推進・人権を尊重する教育の推進など）
「学校のきまりを守っている」と感じている児童と大人の割合のずれが気になる。
年度目標：健康・体力の保持増進（体育的活動の充実・食育）
児童がより体を動かすことが楽しいと感じる行事を計画してほしい。朝食の喫食率を高める啓発・取組みに期待する。
年度目標：学校経営（その他）
地域としても、学校から情報発信（ホームページの更新）される内容を、できるだけチェックしていきたい。創立 40 周年関連行事に地域としても協力できたことは良かった。インタラクティブホワイトボードの活用を強く切望する。

3 今後の学校運営についての意見

今年も全教職員が協力して様々な取組みをすすめている良い雰囲気が職員室からも感じられた。これからも、学校と保護者と地域が協力して、「豊かな人間性とたくましく生きる力を身につけた『矢田北っ子』の育成」をめざして、ともにがんばっていきたい。